

ふるさと再発見 第47回

Rediscovery Omihachiman

たてももの探訪 ⑧

聖徳太子にまつわる伝承が残る

教林坊

今年、聖徳太子が薨去されて1400年という区切りの年にあります。滋賀県には聖徳太子にまつわる伝承が多く残っており、本市を含む東近江地域の各地で催し物が行われています。

今回紹介するのは、そのような聖徳太子の伝承が残る歴史文化遺産の1つである天台宗寺院の教林坊です。作家・白洲正子の著書『かくれ里』の中で、教林坊を石の寺と紹介していることでも知られています。

囲まれた岩屋に祭られた聖徳太子の作と伝わる石仏・赤川観音です。戦国時代の騒乱で衰亡しますが、天正13(1585)年に再興しました。昭和50(1975)年頃から平成7(1995)年まで任職のいない時期があり荒廃しましたが、復興して現在に至っています。

教林坊の庫裏は江戸時代前期の建物です。入母屋造で茅葺材料(ヨシ)に椀瓦葺の庇がついています。庭園に面して付書院を持つ座敷を配置していて、奥には仏間があります。表門は江戸時代後期の建物で、素朴な薬医門形式です。表門と庫裏を結ぶ

板塀で入口と庭園を分けています。庫裏と板塀を含む表門は、市指定文化財に指定されています。庫裏からは、市の名勝に指定されている庭園を見ることができ、四季折々で移り変わる山水画のような光景がみどころです。この庭園は小堀遠州の作と伝えられ、枯れ滝、鶴を見立てた石、亀を見立てた島など巨石を用いて豪快に表現された桃

山時代と思われる池泉鑑賞が本位の庭園になっています。南にも室町時代と考えられる庭園があり、まとまった枯庭となっています。教林坊は紅葉の名所としても知られています。四季折々の自然に溶け込む歴史ある建物にも注目しながら、訪れてみてはいかがでしょうか。



紅葉に包まれる教林坊

広報おうみはちまんは、各自治会を通じてお届けします。また、各学区コミュニティセンターや図書館などの公共施設、郵便局、金融機関、セブン-イレブン・ファミリーマート各店舗などに置いているほか、市ホームページやマチイロ、マイ広報紙などでもご覧いただけます。

人口と世帯 令和4年10月1日現在 ()は前月比

総数	82,005人	(+ 31)
男	40,308人	(+ 7)
女	41,697人	(+ 24)
世帯	35,081世帯	(+ 69)

※外国人住民(44か国・地域/1,762人)を含みます。

Facebook



YouTube



Instagram



マチイロ



マイ広報紙



LINE



広報おうみはちまん

令和4年11月号

編集・発行/近江八幡市総合政策部秘書広報課

〒523-8501 滋賀県近江八幡市桜宮町236

TEL: 0748(33)3111 FAX: 0748(32)2695

MAIL kouhou@city.omihachiman.lg.jp

WEB https://www.city.omihachiman.lg.jp



●この冊子は、環境にやさしい紙を使用しています。印刷・製本に際しては、環境にやさしい材料を使用しています。